



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場会社名 株式会社エディオン

上場取引所 東 名

コード番号 2730 URL <https://www.edion.com/>

代表者 （役職名） 代表取締役会長兼社長執行役員 （氏名） 久保 允彦

問合せ先責任者 （役職名） 取締役常務執行役員管理本部長 （氏名） 小谷野 薫 TEL 06-6202-6048

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	175,304	2.7	5,536	—	5,461	—	3,049	—
2020年3月期第1四半期	170,742	8.6	△2,898	—	△2,679	—	△2,109	—

（注）包括利益 2021年3月期第1四半期 3,138百万円（—％） 2020年3月期第1四半期 △2,205百万円（—％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	28.50	25.48
2020年3月期第1四半期	△18.97	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	384,170	181,826	47.3	1,698.82
2020年3月期	350,024	180,400	51.5	1,685.50

（参考）自己資本 2021年3月期第1四半期 181,826百万円 2020年3月期 180,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	18.00	—	16.00	34.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	14.00	—	14.00	28.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	364,000	△8.3	6,500	△39.6	6,700	△43.8	4,000	△56.8	37.37
通期	743,000	1.3	13,000	5.8	14,000	4.7	7,500	△31.7	70.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	112,005,636株	2020年3月期	112,005,636株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	4,974,639株	2020年3月期	4,974,637株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	107,030,999株	2020年3月期1Q	111,250,866株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における家電小売業界は、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言の発出により、経済活動を大幅に抑制するなど大きな影響を受けました。

当企業グループにおきましても、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一部の店舗で休業や営業時間の短縮を実施した他、セールや広告宣伝の中止等の対応を行いました。その結果、緊急事態宣言期間中の売上が減少するなどの影響が発生いたしました。

一方で、緊急事態宣言解除後には、経済活動を段階的に再開する中で、「新しい生活様式」への対応や、特別定額給付金の支給開始などから消費行動に対する意欲が高まり、来店客数・売上ともに回復いたしました。

商品別につきましては、在宅勤務の増加に伴う「テレワーク需要」によりパソコンやタブレット・プリンタといった情報家電商品が好調でした。また、家庭で過ごす時間が増加した事に伴う「巣ごもり需要」により大画面テレビを中心とした映像家電商品や電子レンジなどの調理家電商品、ゲーム・玩具などが好調に推移いたしました。

エアコンなど季節家電商品につきましても、5月以降に気温が上昇したことで家庭での快適な環境を求める需要が高まり、好調に進展いたしました。

店舗展開につきましては、家電直営店として「エディオンJR芦屋駅店（兵庫県）」、「エディオン豊田四郷店（愛知県）」、「エディオンファニチャードーム岡崎大樹寺店（愛知県）」の3店を新設オープン、「エディオンシーモール下関店（山口県）」を移転オープンいたしました。また、フランチャイズ店舗は1店舗の純減少となりました。これにより当第1四半期連結会計期間末の店舗数はフランチャイズ店舗750店舗を含めて1,186店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,753億4百万円（前年同四半期比102.7%）と増加いたしました。前期の大型出店によるオープン関連費用など販管費が減少したことから営業利益は55億36百万円（前年同四半期は営業損失28億98百万円）、経常利益は54億61百万円（前年同四半期は経常損失26億79百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億49百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失21億9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産に関する分析

総資産は、前連結会計年度末と比較し341億45百万円増加し、3,841億70百万円となりました。これは売上の増加に伴い現金及び預金や受取手形及び売掛金が増加したこと、夏商戦に向けた在庫確保に伴い商品及び製品が増加したこと等により流動資産が359億14百万円増加し、また、主に減価償却に伴い建物及び構築物が減少したこと等により固定資産が17億68百万円が減少したためであります。

負債は、前連結会計年度末と比較し327億20百万円増加し、2,023億43百万円となりました。これは夏商戦に向けた在庫確保に伴い支払手形及び買掛金が増加したこと等により流動負債が341億8百万円増加し、また、転換社債型新株予約権付社債がプットオプション行使の繰上返済により減少したこと等により固定負債が13億88百万円減少したためであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較し14億25百万円増加し、1,818億26百万円となりました。これは主に剰余金の配当により17億12百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により30億49百万円増加したためであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末と比較し109億27百万円増加し、269億2百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、157億28百万円（前年同四半期に使用した資金は27億51百万円）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が47億91百万円、減価償却費が25億29百万円、売上債権の増加による資金の減少が103億37百万円、たな卸資産の増加による資金の減少が136億74百万円、仕入債務の増加による資金の増加が299億48百万円、前受金の増加による資金の増加が26億52百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、17億19百万円（前年同四半期に使用した資金は35億56百万円）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が9億61百万円、無形固定資産の取得による支出が6億92百万円、差入保証金の差入による支出が1億12百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、30億81百万円（前年同四半期に得られた資金は69億11百万円）となりました。これは、長期借入金の返済による支出が3億39百万円、転換社債の償還による支出が11億90百万円、配当金の支払による支出が14億99百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2020年5月14日公表の業績予想から変更はありません。

当企業グループでは、新型コロナウイルス感染症による影響が当第1四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日）まで継続し、その後緩やかに回復するとの仮定を置いて繰延税金資産の回収可能性の判断、のれん及び固定資産の減損テストの判定などの会計上の見積りを行っております。

また同じ仮定の下で通期連結業績予想の算出を行い、2020年5月14日に発表しております。

緊急事態宣言解除後から、実際に来店客数・売上は回復傾向にあり、現時点では上記見積りの変更は行っておりません。

当該見積りは現時点で入手可能な情報に基づいた見積りではありますが、新型コロナウイルス感染症による経済環境への影響については不確定要素が多く、上記の仮定に変更が生じた場合には、当企業グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,974	26,902
受取手形及び売掛金	33,666	44,004
商品及び製品	91,286	104,931
その他	12,427	13,440
貸倒引当金	△58	△67
流動資産合計	153,296	189,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	59,868	59,182
工具、器具及び備品（純額）	7,672	7,340
土地	60,612	60,612
リース資産（純額）	1,752	1,821
建設仮勘定	292	234
その他（純額）	692	660
有形固定資産合計	130,891	129,852
無形固定資産		
のれん	2,986	2,871
その他	7,756	7,735
無形固定資産合計	10,743	10,606
投資その他の資産		
投資有価証券	2,320	2,267
差入保証金	26,093	26,029
繰延税金資産	22,728	22,375
その他	4,257	4,139
貸倒引当金	△306	△310
投資その他の資産合計	55,093	54,500
固定資産合計	196,727	194,959
資産合計	350,024	384,170

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,434	64,383
短期借入金	70	80
1年内返済予定の長期借入金	3,106	3,107
リース債務	237	237
未払法人税等	895	1,502
未払消費税等	1,414	2,279
賞与引当金	5,453	2,983
ポイント引当金	11,055	11,756
その他	23,098	27,545
流動負債合計	79,766	113,875
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	15,117	13,917
長期借入金	38,700	38,329
リース債務	2,135	2,197
繰延税金負債	623	585
再評価に係る繰延税金負債	1,597	1,597
商品保証引当金	9,285	9,437
退職給付に係る負債	8,251	8,229
資産除去債務	8,842	8,972
その他	5,304	5,199
固定負債合計	89,856	88,467
負債合計	169,623	202,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,940	11,940
資本剰余金	84,945	84,945
利益剰余金	94,978	96,316
自己株式	△4,972	△4,972
株主資本合計	186,892	188,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△235	△194
土地再評価差額金	△4,894	△4,894
退職給付に係る調整累計額	△1,360	△1,313
その他の包括利益累計額合計	△6,491	△6,403
純資産合計	180,400	181,826
負債純資産合計	350,024	384,170

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	170,742	175,304
売上原価	119,993	122,539
売上総利益	50,749	52,765
販売費及び一般管理費	53,647	47,228
営業利益又は営業損失(△)	△2,898	5,536
営業外収益		
受取利息及び配当金	37	41
持分法による投資利益	13	—
その他	284	234
営業外収益合計	335	275
営業外費用		
支払利息	66	62
持分法による投資損失	—	112
寄付金	—	125
その他	50	50
営業外費用合計	117	350
経常利益又は経常損失(△)	△2,679	5,461
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除却損	102	14
賃貸借契約解約損	—	33
感染症関連損失	—	585
その他	0	37
特別損失合計	103	670
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,782	4,791
法人税、住民税及び事業税	164	1,466
法人税等調整額	△836	275
法人税等合計	△672	1,741
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,109	3,049
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,109	3,049

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,109	3,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76	41
退職給付に係る調整額	△19	47
その他の包括利益合計	△95	88
四半期包括利益	△2,205	3,138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,205	3,138
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,782	4,791
減価償却費	2,527	2,529
のれん償却額	51	115
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	12
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,520	△2,470
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△11	△21
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,750	701
受取利息及び受取配当金	△37	△41
支払利息	66	62
持分法による投資損益(△は益)	△13	112
固定資産除却損	102	14
感染症関連損失	—	585
売上債権の増減額(△は増加)	△2,091	△10,337
たな卸資産の増減額(△は増加)	△22,142	△13,674
仕入債務の増減額(△は減少)	24,014	29,948
前受金の増減額(△は減少)	1,348	2,652
その他	△575	2,144
小計	684	17,125
利息及び配当金の受取額	23	27
利息の支払額	△49	△48
寄付金の支払額	—	△125
感染症関連損失の支払額	—	△554
法人税等の還付額	—	3
法人税等の支払額	△3,409	△700
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,751	15,728
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,220	△961
無形固定資産の取得による支出	△228	△692
差入保証金の差入による支出	△1,222	△112
その他	115	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,556	△1,719
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	9,020	10
長期借入金の返済による支出	△303	△339
転換社債の償還による支出	—	△1,190
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,754	△1,499
その他	△50	△62
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,911	△3,081
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	604	10,927
現金及び現金同等物の期首残高	9,035	15,974
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,639	26,902

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。